

今月の納税

四月は固定資産税第一期と軽自動車税の納期です。みんな早めに準備して明るい納税をいたしましょう。

広報みまち

'65.4

No. 21

発行 三股町
編集 総務課

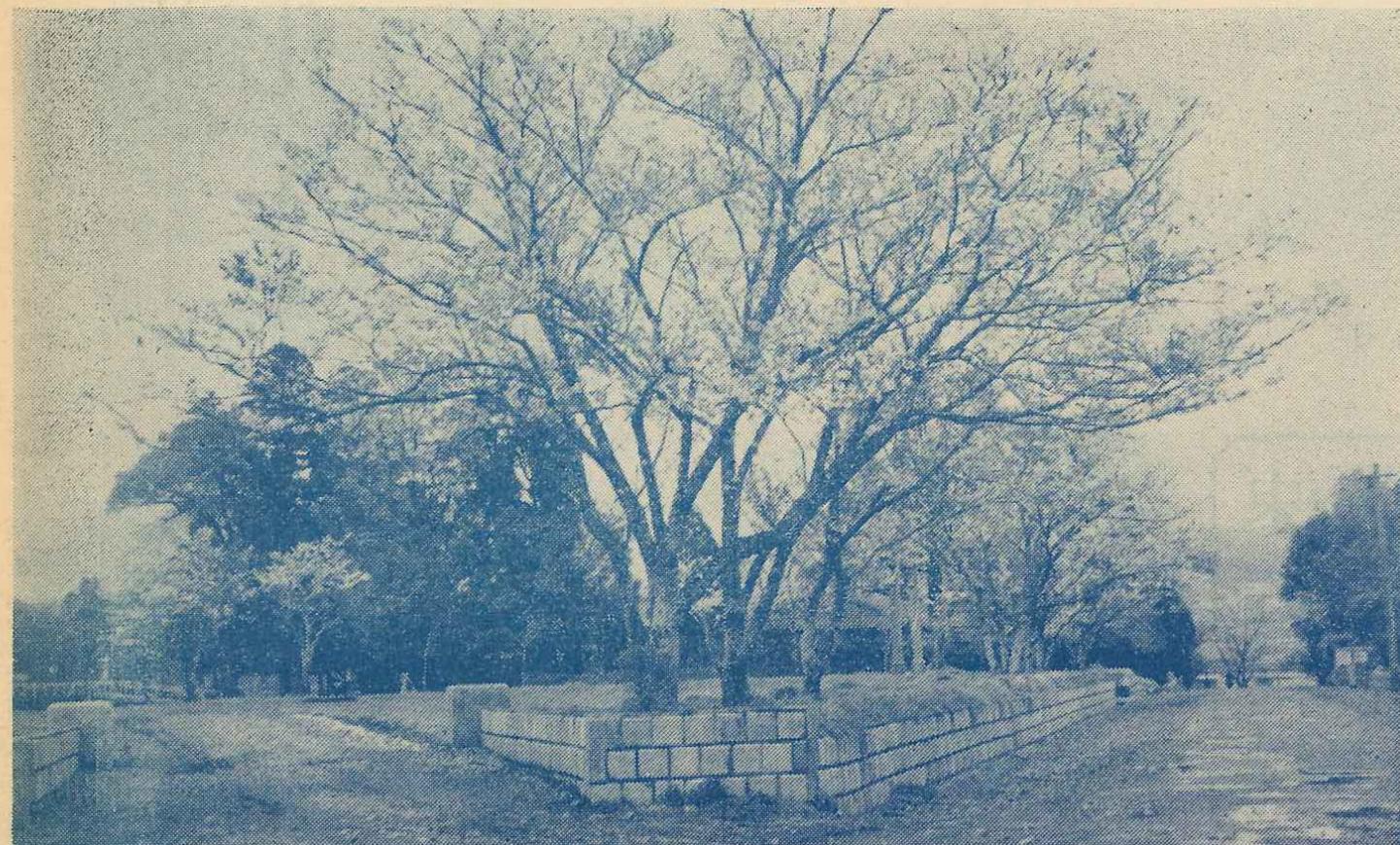
希望をいだいて 春は楽しく

「春よ来い、早く来い」とみんなで待っていた春はあたたかい南の風と共に希望をいっぱい込んで訪れてまいりました。

桜も、れんげも、菜の花

も一齊に咲き乱れて、山や里は若々しく、美しく春のよそおいをこらしております。

春は新らしい希望がわき上る季節です。



かわいらしい新入生、制服、制帽の中学生、高大生、そして就職者は、はちきれそうな希望をいだいてその壮途につき、みんな希望にあふれています。さて春ともなれば、私達町民あげての恒例の「二十五おどり」はもうすぐ

です。ジャンカ馬やら牛おたろりに心はもう二五日にはせてあります。

私達は老いも若きも早馬の庭に楽しくつどう如く全町民融和、協調、互いに手をとり、肩をくみ希望をいだいて未来の町を築きたいものです。

道路行政の現状はどうか教育施設は充実されつつあるか、農民をもっと豊かにする為の農業構造改善事業の進捗状況はいかにあるか或いは社会福祉の現状など

年度事業遂行の現状と更に四〇年度事業はいかにもつてゆくべきかを全町くまなく、つぶさに現地調査検査を行いました。

町議会議員

現地に調査、研修

声なき民意を自分のものとして、住民の信託に

答えようと定例町議会開会間もなく先ず全議員が三九

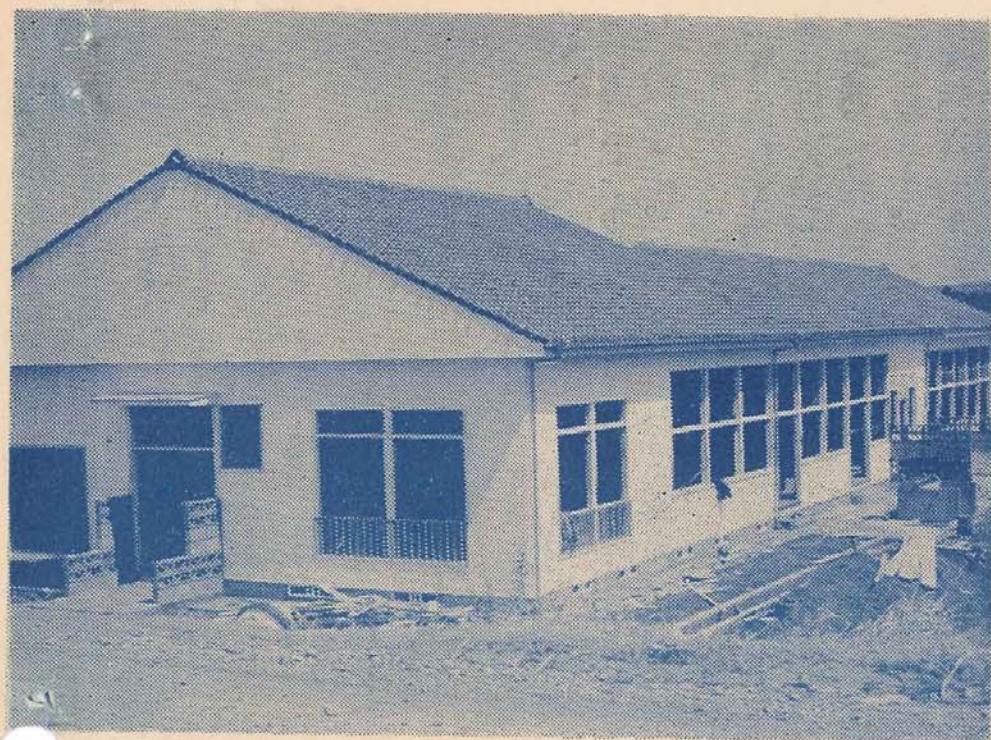
(一般質問の状況は追つて報告いたします)

私達の町はこのようにして私達の代表が創意、工夫研究、討論によって住みよい町えと前進の歩を進めて心に研究しました。

私達の町はこのようにして私達の代表が創意、工夫研究、討論によって住みよい町えと前進の歩を進めて心に研究しました。



餅原簡易駅建設状況を現地に見る議員一行



陽光に映える勝岡保育所

三股町社会福祉協議会が
経営する勝岡保育所が勝岡
部落、蓼池部落間の勝岡よ
りのところに瀬尾建設請負
いのもとに敷地二五一坪、
木造平屋建九〇坪、建設費
四五〇万円をもって出来上
りました。

一ヶ所、保育所六ヶ所となり更には今後近き将来に第四地区公民館区域、第二地区公民館区域、或いは地理的に孤立した地域等に保育施設としての児童館等を設置する構想が立てられており、私達のこどもが、ほんとうに健康で明るく、豊かな成長に役立つことであります。

勝岡保育所が
落成しました
四月より開園

だれしもが「まんいち、
当った場合はどうしよう」
などと一かく千金を夢みる
ことがよくありますが、そ
の「万が一」ならぬ「一〇
万が一」の幸運の年賀ハガ
キの特賞を射留めた人があ
ります。

前日部落の川畑正昭さん（三二歳）がその人です。川畑さんは新聞の片すみに小さく出ている年賀ハガキの特賞当選番号が「以外中の以外」まぎれもなく自分が宛の九八七六〇二と同一番号であるのにびっくりぎょうてん、思わず歎声をあげたそうです。

「まさか自分に当るなんて、夢にも思わなかつた」うです。それはそのはず

一〇万枚にたつた一枚の幸運ですから、

川畠さんが年賀ハガキの一〇万枚にたつた一枚の特賞を射とめる

特賞を射とめる
一等賞に谷山さん



量品のテレビを愛顧する川畠さん

げて残された甘藷が埋まらないよう気が配つてありました。ここに大地と取組む工事現場の人達の真実にふれることが出来ます。

私の社会観、教育観 ②

——北野実則——

◇ 農民と大地 ◇

も無惨に削り取られていくのは我が身を切られるような心の痛みを感じたのであります。

「大地とは農夫の義」と言われた鈴木大拙先生が今更のように尊く思われます。

政治も教育もこの大地に根をおろしてこそ力強く生きてゆくものではないでしょうか。

げて残された甘藷が埋
らないように気が配つ
ありました。ここに大
と取組む工事現場の人
の真実にふれることが
来ます。

稿投

偉大なる哲学者であり又宗教家でもある鈴木大拙先生は「大地と云うは田舎の義、百姓農夫の義と書いておられます。はだし何ものにもごまかされぬ大地を通して生命の真実を把握するところに農民の大地性を認められたのであります。」
先般県道坂元線の道路拡張で私の畑も約一アール程かかりましたが、丁度甘藷が植えてありましたので、工事前に甘藷を掘り取りました。幅広く

行場敷地にする作業でたりましたが、ともに働くいた或る農村の一女性が、「あたし達に、こげをしごつ、さしゃつとぬさん」といかにも悲しげにつぶやいていたのをつづります。昨日のように思い出します。